



表紙のことば

袋井ハロー保育園の近くにある田んぼで、3～5歳児65人が参加して「どろんこ遊び」が行われました。最初は、恐る恐る田んぼに入った園児たちですが、すぐに田んぼの感触にも慣れ、大はしゃぎ。タライやバケツを持ち込んだり、走り回ったりして思い思いに楽しみました。最後は、泥で団子を作って泥合戦に。全身泥まみれになって、体で自然を感じていました。

市民の動き

人口 / 85,416人 (前月比+247人)

(外国人登録者3,835人含む)

男性 / 43,143人 (前月比+140人)

女性 / 42,273人 (前月比+107人)

世帯数 / 29,658世帯(前月比+192世帯)

平成19年5月1日現在



2007年(平成19年)6月1日発行 第53号

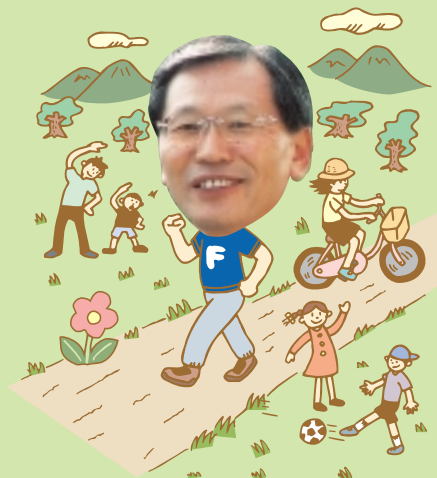
編集・発行 / 袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係
〒437-8666
静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1
TEL 0538-43-2111(代表)
【ホームページ】
<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>
【携帯サイト】
<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>
【Eメール】
hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

原田市長の

さんぽみち

散歩道



今年度の花いっぱいコンクールの表彰式が5月中旬に行われた。17回を数え、年々、出展者も増え、レベルも上がってきている。入賞された方々は、日々の努力に加えて、審査日に合わせて花を咲かせる苦心もされたことと思う。

地域部門では、久津部西のグループが、学校部門では、笠原小学校が、個人部門では、新池の鈴木さんが最優秀に選ばれた。

久津部西のグループは、隣り合った5軒で、花の街区を作った。全体の調和にも気が配られていて、各戸の花の相乗効果で区域全体が明るく、楽しいものになっていた。

笠原小学校の花壇は、私が訪れた時には、既に半分片付けられた

「花いっぱいコンクール」

後だったので、校長室に掲げられていた児童の絵で紫色のビオラやキンセンカなどで造られたきれいな花壇を連想した。

個人部門の鈴木さんの花壇は、審査の時には、つぼみだったと思われる真紅のバラが咲き誇っていた。

て、あまりに見事なので、留守中でも失礼して、庭先まで入って見せていただいた。

このコンクールで3回最優秀になると認定される「名人位」が既に5組も誕生している。名人になると周りから期待され、信頼され

るので、なかなか大変だと思いますが、市を美しくする運動の先頭を走っていることを誇りに、是非頑張っていたいただきたいものです。

国家に品格が必要なように、都市にも品格が必要です。その品格を構成する重要な要素に、街が美しいことや住む人が思いやりの心に満ちていることがあげられます。

花を育てて、庭や垣根を飾ることで、自分も楽しく、通る人や近所の人を気持ち良くさせ、街も美しくなる。こうしたことから、花いっぱいコンクールは、袋井市の品格を高めるために、大きな役割を果たしておりますので、これからも、もっと多くの皆さんに参加していただいて盛り上げていきたいと思えます。